

「阪奈会」創立50周年記念総会を開催

阪奈会 会長 村 田 省 吾
(47年卒)

阪奈会は本年5月に創立50周年を迎えました。そこで、今年度の通常総会は、「阪奈会創立50周年記念総会」として、令和元年7月27日（土）に大阪・上本町のシェラトン都ホテル大阪で開催しました。

午後4時からの総会は、西谷昌也理事（昭和59年卒）の司会で開会。先ず、この一年間に逝去された14名の物故会員に黙祷し、ご冥福をお祈りいたしました。

会長の挨拶では、阪奈会が昭和44年の創立以来50年を迎えたこと、そして多事多難の中今日まで継続できたのは、多くの先輩方の努力のお蔭であることなどが述べられた。

次に、寺田秀興議長（昭和44年卒）が議事を進行し、澤田秀智副会長（昭和57年卒）が平成30年度庶務報告、事業報告を行ないました。さらに、市川正裕副会長（昭和49年卒）が決算報告をして、三橋二良監事（昭和36年卒）が監査報告を行ないました。審議の後、各案件は全会一致で承認されました。

引き続き、阪奈会規約（3年毎の役員改選。再任を妨げない。）に従い、次期役員を別表の如く選任しました。今回は3人の理事が退任し、新しく大久保芳明理事（昭和51年卒）、福岡和也理事（昭和61年卒）、赤澤英樹理事（平成6年卒）の3人が加わりました。

最後に、令和元年度の事業計画案および予算案が提案され、原案どおり承認されました。

午後4時30分からは、創立50周年記念会に移りました。村田会長の挨拶に続き、ご自身も阪奈会の会員である細井裕司学長（昭和50年卒）からお祝辞をいただきました。さらに、ご多用の中ご臨席いただきました國分清和同窓会長（昭和51年卒）からお祝辞をいただきました。

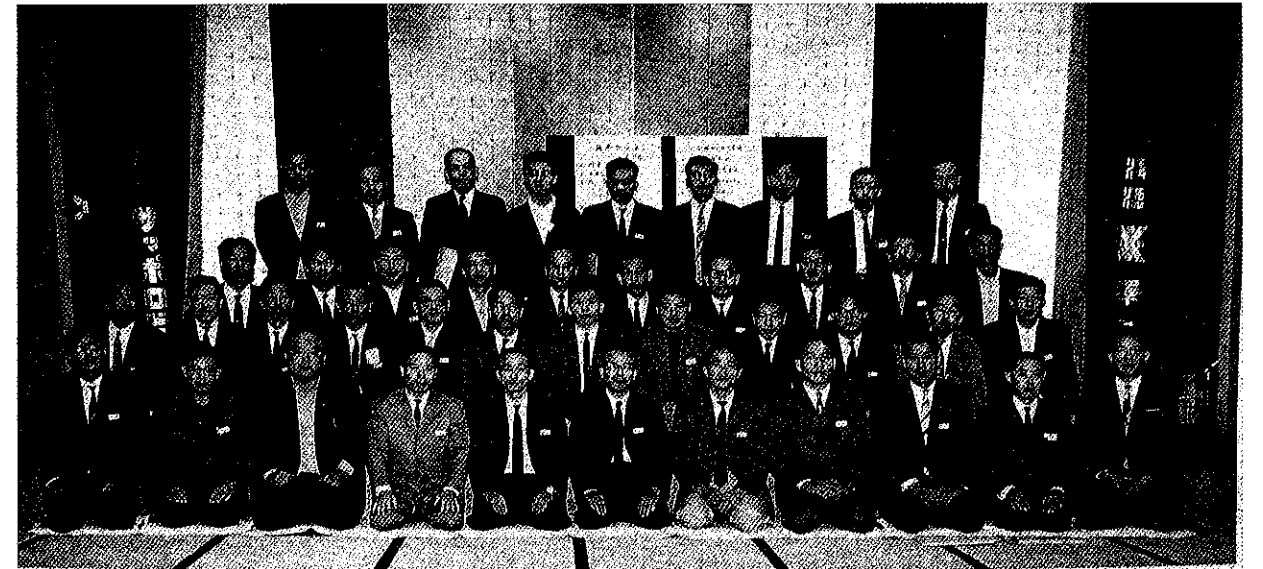
次に「阪奈会の歴史を振り返って」と題して座談会を行ないました。過去に発行された阪奈会の会報や、その時々^①の記念の写真をスライドで表示し、当時を思い出しながら、多くの会員に発言していただきました。

「**阪奈会の発足**」：昭和40年代の初めごろ、大阪で開業する奈良医専や奈良医大の卒業生の有志が集まり、大阪で同窓会的なものを作ろうと発起した。発起人の中心となったのは、木下為弘先生（昭和26年卒）、川崎芳春先生（昭和27年卒）、阿部圭助先生（昭和29年卒）、原省吾先生（昭和29年卒）の4人だった。そして、昭和44年5月25日に天満の中華料理店で設立総会を開催した。発会の趣旨は、会員の相互扶助・親睦であった。会の名称は阿部先生の発案で「阪奈会」とした。この会の開催準備に当たり、4人は原先生の診療所に集まり、同窓会名簿と医師会名簿を突き合わせながら約100名の卒業生に案内状を送った。当時は便利な印刷機もなく、徹夜で宛名を手書きしたとのこと。

その後、同年10月19日に第1回の臨時総会が開催された。その時の記念写真が（写真1）である。この写真は澤田副会長の父上、澤田秀作先生（昭和26年卒）の遺品の中にあつたものを提供していただきました。42名の会員が写っています。その中で本日の総会にもご出席いただいた

のは阿部先生と三橋先生のお二人のみです。全員のお名前までは判明いたしませんでしたが、一部を紹介いたしますと、前列中央が川崎先生、その右が木下先生、左が巽祐彦先生（昭和25年卒）、そして左へ原先生、村上勲先生（昭和37年卒）、阿部先生と続きます。そして、最後列の左から2人目が三橋先生とのことです。会場は天王寺の旅館「新宿」の大広間。

阪奈会発足後の最大の難関は財政の問題だったそうで、大層努力していただいたそうです。運営には当初の4人のほか、薄司朗先生（昭和26年卒）、吉岡諄二先生（昭和29年卒）、野崎瞭一先生（昭和31年卒）らも加わり体制が整っていったという。これら阪奈会草創期の詳細については、平成7年9月2日発行の「奈良県立医科大学五十年史」P.735～741に記載されています。



阪奈会 総会 44.10.19 於新宿

写真1

「**阪奈会の組織**」：発足当初から親睦団体として会長制をとらないで、常任幹事の合議制で運営してきた会であったが、実質的に会長のような立場で阪奈会を牽引してきた原先生の提案で、昭和60年に会則の変更がなされ、会長、副会長、理事、監事などの役職を決めて新体制で運営することになった。新会長には野崎先生、副会長には寺西範年先生（昭和36年卒）、可児敏紀先生（昭和43年卒）が選出された。会員数の増強にも注力いただき、開業医のみならず、病院勤務医や府内在住者にも入会の資格を拡げていただいた。平成7年に野崎会長が退任され、可児先生が会長に就任された。可児先生は昭和56年から幹事（世話人）を担当されていて、総会や懇親会の開催は元より、会誌の発行やゴルフコンペの企画など多方面にご活躍いただいた。平成13年から村上先生が会長を務められ、さらに、平成22年7月より村田が現会長を担当しています。

発足時100名弱の会員で出発した阪奈会でしたが、歴代役員や会員のご尽力により会員数は増加し、今回の50周年記念総会の通知は1490名の卒業生に送付しました。既に他界された先生や府外に転勤された勤務医は含まれていませんので、延べ人数は2000名を超えるものと考えています。ほんとうに多くの会員の力で、50周年を無事に迎えることができました。

「**総会および懇親会**」：年1回の通常総会と臨時総会が開催されていたが、保険医療懇談会も年1回開催されるようになって、臨時総会は開催されなくなっている。総会の会場は平成13年

ではロイヤルホテルや太閤園などであったが、平成14年からニュージャパンおよび敦煌。さらに、平成25年以降はシェラトン都ホテル大阪で開催されている。

「保険医療懇談会および懇親会」：昭和63年11月23日に阪奈会医療懇談会として第1回が難波のホテル一栄で開催された。奈良医大出身の審査委員8名（社保・国保・労災の現職）が説明および回答者としてご出席いただき開催されたそうで、好評で次年度以降も開催されている。

「会報」：昭和55年5月21日に「阪奈会だより」なる小冊子が発行されている。創立10周年の記念誌だったと思われる。その後、「阪奈会会報」が発行されるようになるが、創刊がいつであったかは分からない。昭和60年に3号、4号が発行されている。年2号ずつ発行されていたが、平成12年の25号を最後に休刊状態となった。以後、阪奈会の活動の様子は同窓会誌「厳樞」に投稿するように努めている。

「ゴルフ部」：第1回コンペは昭和52年に吉川CCで開催されている。以来年2回ずつ開催されている。多くの会員が優勝を経験されています。最近まで白畠俊治先生（昭和47年卒）が幹事を担当してくれていましたが、現在は妻谷憲一先生（昭和60年卒）が担当してくれています。

「囲碁部」：木田勝康先生（昭和31年卒）、吉矢久人先生（昭和39年卒）はじめ発起人の先生方の呼びかけで、第1回囲碁大会が平成8年7月14日に枚岡医師会館で開催された。その後、囲碁部例会として年3回開催されている。最近、正岡哲先生（昭和47年卒）と桑田博文先生（昭和46年卒）が幹事を担当して、ホテルアウリーナで開催されている。

「テニス部」：平成2年に小林康明先生（昭和34年卒）のご尽力で硬式テニス同好会が発足した。第1回例会を4月15日に平野南テニスクラブで開催した。大変盛況で回を重ね、ご家族の参加も多数あり、年6回開催されていたが、常任幹事の木下明之先生（昭和36年卒）が平成26年に体調を崩されて以降、後継の幹事が現れず、休部状態となっている。

「大学同窓会への協力」：昭和55年ごろ、大学同窓会の活動は沈滞の方向にあり、阪奈会の多くの会員はその実情を憂い、大学同窓会の再建に助力を惜しむべきでないと考え、物心両面の支援を行った。昭和60年に奈良医大再建同窓会第1回総会が開催された。その後も大学同窓会の役員に常に10名前後の会員を送り運営に協力している。歴代会長として、木下為弘先生（昭和26年卒）、吉村隆司先生（昭和35年卒）、小味渕智雄先生（昭和40年卒）にご活躍いただいた。

午後5時30分から館内の写真室に移動し、50年前の写真のように記念撮影をした。（写真2）

この両方の写真に写っているのは、阿部先生と三橋先生の2人だけ。100周年の記念写真には誰が写っているのでしょうか？

祝賀会は午後6時から始まった。41名が集まり、妻谷憲一理事の司会で例年通り全員が近況報告などのスピーチをして賑やかに進行しました。いつものことながら、それぞれのスピーチが長

くなり予定時間をオーバーしてお開きとなりました。

今回、50周年記念総会に際し、阪奈会の設立発起人のお一人の阿部圭助先生にご出席いただいたことが最も嬉しいことでした。先生は大変お元気で、昨年閉院されるまで大正区で眼科を開業されておられたそうで、大正区医師会の元会長で、つい先日まで現役の議長を務めておられたそうです。

他の発起人のお三方は、すでに他界されておられ、当時のことをお伝えいただける唯一の方です。どうぞお元気で、阪奈会をお見守りいただきますようお願いいたします。



阪奈会創立50周年記念祝賀会 令和元年7月27日 於 シェラトン都ホテル大阪

写真2

<別表>

阪奈会役員（令和元年～3年）

会 長	村田 省吾（昭47年卒）
副会長	市川 正裕（昭49年卒）、澤田 秀智（昭57年卒）
理 事	桑田 博文（昭46年卒）、白畠 俊治（昭47年卒）、正岡 哲（昭47年卒） 馬場谷勝廣（昭49年卒）、大久保芳明（昭51年卒）、本田 伸行（昭57年卒） 河合 公子（昭58年卒）、西谷 昌也（昭59年卒）、宮田 重樹（昭59年卒） 中垣 滋央（昭59年卒）、妻谷 憲一（昭60年卒）、福岡 和也（昭61年卒） 井谷 篤史（平4年卒）、赤澤 英樹（平6年卒）、多田 和弘（平12年卒）
監 事	三橋 二良（昭36年卒）、内本 泉（昭46年卒）
議 長	寺田 秀興（昭44年卒）、
副議長	木下 秀夫（昭44年卒）
顧 問	阿部 圭助（昭29年卒）、野崎 瞭一（昭31年卒）、吉村 隆司（昭35年卒）、 小味渕智雄（昭40年卒）